

平成 15 年 10 月 7 日

報道関係各位

社団法人日本パーソナルコンピュータソフトウェア協会 (JPSA)

## 国内初、「IT スキル標準」と「IT 資格」の関連性の調査結果まとまる 「コンピュータ・IT 資格白書 2004 年版」を JPSA が発刊

社団法人日本パーソナルコンピュータソフトウェア協会（東京都千代田区、会長：川島正夫、以下「JPSA」）の人材育成・教育委員会（委員長：浅田隆治 株式会社ウッドランド 代表取締役会長）は、経済産業省が公表した「ITスキル標準(ver1.0)」と「IT資格」との関連性を調査するとともに、IT資格の動向等について調査を行い、その結果を「コンピュータ・IT資格白書2004年版」としてまとめました。

同書は、乱立するIT関連資格を調査・分析したもので、1998年の「パソコン資格白書1998年度版」の発刊以降、改称するなどして毎年改版を重ねており、今回で6冊目の発刊となります。

今回の2004年版は、これまでの成果を踏まえ、資格ガイド編では、IT関連約140種類の認定試験の概要や特徴、要求されるレベル分析などを、図解で分かりやすく紹介しています。また、調査研究編では、「IT資格主催団体等へのアンケート調査結果」「資格の動向や今後の資格のありかた」「ITスキル標準とIT資格との関連性調査結果」「企業におけるITスキル標準の取り組み状況」などを盛り込んだ内容となっています。

今後、JPSAでは、業界における「ITスキル標準」の普及を目的とし、本書を大学や専門学校の教育機関および企業の教育担当者や人事部門などへ無料で1,000部を配布する予定です。

JPSA 人材育成・教育委員会委員長 浅田 隆治：

経済産業省では、ITサービス業におけるプロフェッショナルとして必要な実務能力を具体的に定義し体系化した「ITスキル標準」をまとめ、2002年12月末に公表しています。技術者のスキルとITスキル標準を照らすことで、様々な課題が明確になり、解決の方向性をつかむきっかけになります。ITスキル標準スキルフレームワークが公表されたとき、IT資格はどこに位置するか、などの声も多く聞かれました。今回、同委員会では、ITスキル標準とIT資格との知識項目でのマッチングという極めてミクロ的な検証を行いその結果をまとめました。IT資格とITスキル標準との利用について本書をぜひ参考いただき、ITサービス業における人材育成や人事制度の構築において本書が一助となることを期待いたします。

参考

10月8日(水)「CEATEC JAPAN 2003」のコンファレンスにおいて、JPSA人材育成・教育委員会 ITSS小委員長 宇野和彦より本書を紹介した「ITスキル標準の利用について」と題した講演を行いますので是非、ご参加ください。

以下URLより聴講受付中

URL <https://service.ceatecjapan.net/ja/>

(セッション番号:SS-05 10月8日14:00～15:00)

添付資料

1. [「コンピュータ・IT資格白書2004年版」のご案内](#)

問い合わせ先

社団法人日本パーソナルコンピュータソフトウェア協会 (JPSA)

事務局 担当:宮下 (E-mail: [miyashita@jpsa.or.jp](mailto:miyashita@jpsa.or.jp))

〒100-0014 東京都千代田区永田町2-4-2 秀和溜池ビル4F

TEL:03-5157-0780 FAX:03-5157-0781 <http://www.jpsa.or.jp/>